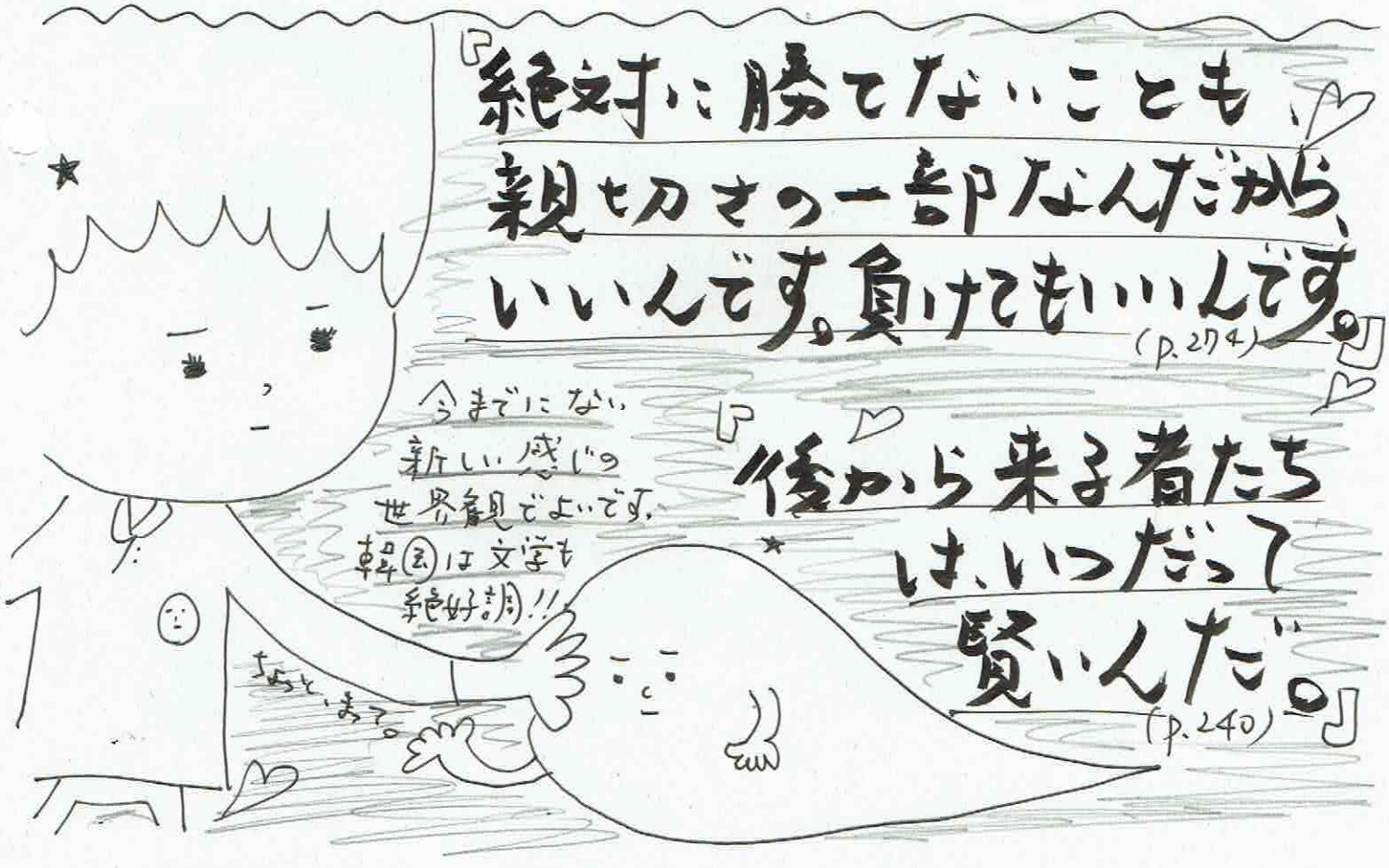
元祖 モリモリ書店 WEB版

令和２年度　愛知教育大学附属岡崎中学校　読書だより

第12話　R02.05.26(火)
「不器用な生き方だって捨てたものじゃない。」

★今回、紹介する本は、『保健室のアン・ウニョン先生』（著/チョン・セラン、訳/斎藤真理子、出版/亜紀書房）です。

韓国のへんてこりんで、とってもキュートな小説を紹介します。高校の保健室の先生として勤める主人公のアン・ウニョンは、亡霊的なものや人間の悪しき念みたいなものが見えてしまう体質。

そんなアン・ウニョンが、ＢＢ弾とおもちゃの剣をもって、学校を守るという、奇想天外かつポップな作品。漢文の男性の先生と力を合わせて、事件を解決していく連作短編で、とても心地がよいです。

さまざまな社会問題をとりあげながらも、重すぎないところも魅力。そして、何より、弱者や不器用なき方をする者に対して、とてもあたたかいまなざしに満ちているのもよいです。第１話の屋上のシーンなども、とにかく最高。不思議な世界にぜひはまってほしいです。